

岡本一平著並画『探訪画趣』序

夏目漱石

青空文庫

私は朝日新聞に出るあなたの描いた漫画に多大な興味を有^もっている一人であります。いつか社の鎌田君に其話を^よして、あれなりにして捨ててしまうのは惜しいものだ、今のうちに纏^{まと}めて出版したら可^よからうにと云った事があります。其後あなた自身が見えた時、私はあなたに自分の描いたものはみんな保存してあるでしょうねと聞いたら、あなたは大抵散逸してしまつたように答^{こた}えられたので私は驚^{おどろ}ろきました。尤^{もつと}もそういう私も随分無頓着な方で、俳句などになると、作れば作つたなりで、手帳にも何にも書き留めて置かないために、一寸短冊などを突きつけられて、忘れたものを思い出すのに骨の折れる場合もあります。それは私がその道に重きを置いていない結果だから、仕方がありませんが、貴^あ方の画は私の俳句よりも大事にして然るべきだと私はかねてから思っていたのだから、それを揃^{そろ}えて置かない貴方の料^{りよう}簡^{けん}が私には解^とれなかつたのです。

あなたは私に云われて始めて気が付いたように工場の中を探し廻つたというじゃありませんか。そうして漸^{ようや}くそれを出版する丈^{だけ}に纏^{まと}めたのだそうですね。左右^{そう}なればあなたの労力が単独に世間に紹介されるという点に於^{おい}て、あなたも満足でしょう、最初勧誘した責任のある私も喜ばしく思います。私ばかりではありません、世の中には私と同感のものがま

だ沢山^{たくさん}あるに違ないのです。

普通漫画というものには二通りあるようです。一つは世間の事相に頓^{とん}着^{じゃく}しない芸術家自身の趣味なり嗜好^{しこう}なりを表現するもので、一つは時事につれて其日々々の出来事、ある意味の記事同様に描き去るのです。時と推し移る新聞には、無論後者の方が大切でしょうが、あなたはその方面に於ての成功者じゃなからうかと私は考えるのです。私が最初あなたに勧めて、年中行事というようなものを順次にならべて一卷にしたら何^どうだろうと云ったのは、是^{これ}がためなのです。見る人は無論あなたの画から、何時^{いつ}何んな事があつたかの記憶を心のうちに呼び起すでしょう、しかも貴方の表現したような特別な観察点に立つて、自分がいまだかつて経験しなかつたような記憶を新らしくするでしょう。此二つの記憶が経となり緯となつて、ただでは得られない愉快が頭の中に満ちて来るかも知れません。忙^{へび}がしい我々は毎日々々蛇^{へび}が衣を脱ぐように、我々の過去を未練なく脱いで、ひたすら先へ先へと進むようですが、たまには落ち付いて今迄通^{みち}つて来た途^{みち}を振り向きたくなるものです。其時茫^{ぼう}然^{ぜん}と考^{だけ}えている丈^{だけ}では、眼に映る過去は、映らない時と大差なき位に、貧弱なものであります。あなたの太い線、大きな手、変な顔、すべてあなたに特有な形で描かれた簡単な画は、其時我々に過去は斯^こんなものだ^こと教えて呉^くれるのです。過去はこれ程

馬鹿氣で、愉快で、変てこに滑稽に通過されたのだと教えて呉れるのです。我々は落付いた眼に笑を湛えて又齷齪と先へ進む事が出来ます。あなたの觀察に皮肉はありますが、苦々しい所はないのですから。

もう一つあなたの特色を挙げて見ると、普通の画家は画になる所さえ見付けられ、それですぐ筆を執ります。あなたは左右でないようです。あなたの画には必ず解題が付いています。そうして其解題の文章が大変器用で面白く書けています。あるものになると、画よりも文章の方が優っているように思われるのさえあります。あなたは東京の下町で育ったから、斯ういう風に文章が軽く書きこなされるのかも知れませんが、いくら文章を書く腕があつても、画が其腕を抑えて働かせないような性質のものならそれ迄です。面白い絵説の書ける筈はありません。だから貴方は画題を選ぶ眼で、同時に文章になる画を描いたと云わなければなりません。その点になると、今の日本の漫画家にあなたのようなものは一人もないと云つても誇張ではありません。私は此絵と文とをうまく調和させる力を一層拡大して、大正の風俗とか東京名所とかいう大きな書物を、あなたに書いて頂きたいような気がするのです。

六月十五日

岡
本
一
平
様

夏
目
金
之
助

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚版 夏目漱石全集 10」筑摩書房

1972（昭和47）年1月10日第1刷発行

※吉田精一による底本の「解説」によれば、発表年月は、1914（大正3）年6月15日。

入力：Nana ohbe

校正：米田進

2002年4月27日作成

2003年5月11日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

岡本一平著並画『探訪画趣』序

夏目漱石

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>